



## ご挨拶

北信越サッカー協会 会長 丹羽 洋介

この度の東北地方太平洋沖地震及び長野県北部地震に被災されました方々の心よりご冥福をお祈り申し上げますと共に被害を受けられた地区の皆様方におかれましては心よりお見舞い申し上げます。1日も早い復興をお祈り申し上げます。

さて、Jリーグも4月23日再開と決定しました。3月29日大阪長居スタジアムで日本代表とJリーグ選抜が慈善試合を行うことになりました。被害地はもとより日本全体に明るさと元気さと力強さを発信するゲームになりますよう願っております。

さて、昨年暮れから今年にかけて、ことのほか雪が多くて皆さん、オフの過ごし方、今シーズンへ向けての練習が大変だったと思いますが、3月も中旬を迎えますと暖かくなりいよいよサッカーシーズンが来たかと、期待で胸がわくわく、ドキドキしておられることと思います。

昨年の南アフリカワールドカップ 岡田JAPAN、そして今年のアジアカップのザッケローニJAPANの活躍は、日本中を明るく元気にしてくれました。そしてスポーツのサッカーが持つ力を如実に見せてくれました。

北信越フットボールリーグも、長野パルセイロがJFLに昇格し、また新たな1部8チーム、2部8チームで4月10日開幕し、7月31日まで熱戦が繰り広げられます。

どうか、サッカーそのものを楽しんで頂き、県リーグや高校生に夢と希望をあたえて頂きますようお願いいたします。

又、北信越フットボールリーグから今年もJFLへの昇格チームが出ることを願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。



## ご挨拶

北信越社会人サッカー連盟会長 西田 力生

第37回北信越フットボールリーグ（HFL）のスタートにあたり、一言ご挨拶申し上げます。始めに、東日本大震災で被災された全ての皆様方に、心よりお見舞い申し上げます。一日でも早い復興を祈願しますとともに、我々も微力ながらも支援をと思っております。

HFLは三十数年の歴史において、リーグ関係者及び当連盟選出の全社連役員の尽力により、競技・運営能力の向上、サッカー競技の普及に努めて参りました。それは遅々とした歩みながら、確実な足取りで後進地域のイメージを脱してきた感があります。

昨年、長野パルセイロが松本山雅・ツエーゲン金沢に続きJFL入りを果たしました。それぞれのチームが厳しいハードルをクリアして、Jリーグへと飛翔される事を願っております。有力チームがJFLへと昇格した本年は、改めてリーグ創設の精神に回帰し、HFL加盟チームは切磋琢磨し、HFLの向上に努める必要があるのではと感じられます。

近年の厳しい経済状況や、登録チーム・選手の減少等の逆風を克服すべく、我々連盟役員もHFLと協力しつつ、より一層の向上に努める所存であります。

最後になりましたが、本年もHFLのスタートにあたり、ご支援・ご協力を頂いた全ての方々に感謝申し上げ、HFLの更なる発展を願ひまして、ご挨拶とさせていただきます。